

平成28年度錦小学校学校経営について

1 学校教育目標

「豊かな心・確かな学力・健康な体を備え、しなやかに生きようとする子どもの育成」

豊かな心

- ・あいさつと感謝ができる。
- ・自分も他者も大切にする。
- ・自分の可能性を見出し、自尊感情を高める。

確かな学力

- ・学習習慣と学習方法を身につける。
- ・基礎基本の学力を身につける。
- ・自分の考えをもち、表現できる。

健康な体

- ・基本的な生活習慣と衛生習慣を身につける。
- ・自分の健康づくりに関心をもつ。
- ・健康でめあてに向かって粘り強く取り組む。

しなやかに生きようとする子

- ・自己選択力と自己決定力、自己指導能力を身につける。
- ・困難なことも乗り越え、自己実現しようとする意志と実践力を身につける。
- ・錦に愛着と誇りをもつ。

2 めざす学校像・子ども像・教職員像

○ 学校像	(1) 子どもの「心・体」を育み「学び」を鍛える活力ある学校 (2) 教職員個々の「持ち味」が十分発揮される学校 (3) 保護者や地域に開かれた学校
○ 子ども像	(1) にこにこ笑顔で思い合う子 (2) しっかり考え学び合う子 (3) きたえた体でやりぬく子
○ 教職員像	(1) 子どものやる気や元気を引き出す教職員 (2) 学び合い支え合って教育課題を解決する教職員 (3) 子ども・保護者・地域の人々から信頼される教職員

3 学校経営方針

一人ひとりの教職員の資質や能力が十分発揮され、教育活動の成果を上げるため、以下を方針として経営を推進する。

- (1) 教職員相互の対話を深め、教育課題の解決や教育内容の改善等にチームとして取り組む。
- (2) 情報の交流と共有を大切にし、「学習者起点」を基本に据えた教育活動を推進する。
- (3) 一人ひとりの子どもの実態を把握し、個に応じたきめ細かな指導を行う。
- (4) 教育活動を通して保護者や地域との連携及び交流を深め、「開かれた学校づくり」を推進する。
- (5) 会議や校務分掌業務等について不断の見直しと精選に努め、総勤務時間の縮減を図る。
- (6) 休暇制度の積極的な活用を奨励し、教職員心身の健康の維持増進を図る。

4 重点目標

重点的な取組事項－（１）		思い合う子の育成 ～自分も他者も大切にすることを育む教育活動～
目標実現に向けた取組		
①	自尊感情の育成	・全教職員による子ども理解と指導、関係機関や外部人材も活用した支援体制を充実する。 ・自他のよさを認め合う場を設定し、自尊感情の育成を図る。
②	道徳性と人権意識の育成	・教育活動全体を通じて、心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 ・人権についての理解と認識を深め、人権を尊重する実践行動力を育てる教育活動を推進する。
③	人とつながる力の育成	・メタ認知力と他者への共感力を養い、伝える力を高める。 ・人権作文をもとにした「校内人権フォーラム」を開催し、仲間づくりの取組を推進する。

重点的な取組事項－（２）		学び合う子・やりぬく子の育成 ～自ら考え高め合う子どもを育てる教育活動～
目標実現に向けた取組		
①	基礎基本の定着	・「朝の学習」や「音読カード」の有効活用を推進する。 ・「放課後学習」の教材を吟味し、発展的な問題に取り組む時間を位置づける。
②	言語活動の充実	・授業の「めあて」と「振り返り」の一体化、及び「伝え合う力の系統表」の活用を促進する。 ・音読発表会の実施や図書館経営の工夫により、子どもたちの読書量を増加させる。
③	家庭学習の習慣化	・「家庭学習の手引き」を周知徹底し、家庭と協働して学習習慣の確立を図る。 ・「宿題」と「自主学習」の内容を工夫し、主体的・自律的に学ぶ力を育成する。

重点的な取組事項－（３）		開かれた学校づくり ～地域への愛着と誇りを育む教育活動～
目標実現に向けた取組		
①	地域学習の充実	・地域を知り地域で学ぶ機会を設定する。 ・各学年で取り組む地域学習の内容を、系統的かつ継続可能なカリキュラムとして整理する。
②	地域との連携・交流	・地域学習を中心に保護者や地域との連携及び交流を深め、「開かれた学校づくり」を推進する。 ・地域防災組織との連携を深めつつ、防災学習の取組を推進する。
③	情報発信	・学級だより、保健だより、学校だより、HP等を通して学校や子どもたちの様子を発信する。 ・学校行事や子どもたちの活動をより広く発信するため、報道機関等を積極的に活用する。